

CKD診療、最近の実践 —CKD診療における患者さんへのかかわり—

CKD患者は糖尿病関連腎臓病・慢性腎炎・肥満関連腎症・高血圧関連腎疾患、脂質異常症による腎症、など原因と
言われています。特に高齢者を中心としてCKD患者は増加してきています。

患者さんの心理である「透析は何とかしなくて過ごしたい」という意向を尊重しながら、治療する側としての対応
「腎疾患固有の治療」と「疾患寛解に向けての栄養・運動・睡眠関連生活実践指導」を駆使してCKD診療に対応して
いきます。また、実地では季節・地域性・行事事・人としての気質などを理解して腎疾患改善に順行するように対応し
ていきます。こうした実態解析とCKD患者さんへの「かかわり」を密にすることでその多くの課題を解決していきます。
人としての生活・態度に用心や謙虚さが不足するとその悪影響が腎疾患憎悪にかかわってきます。

それをsmall grade AKI、Small flare と称し 早期発見 早期対応、そして医療介入することが求められます。治療予後
と関連（相関）していることが多いと考えられます。そこで、具体的にCKD診療の項目（貧血、血圧、カリウム、
CKD-MBD、脂質、水分バランス、アシドーシスなど）そして「生活に密接に関連した指導項目（脱水、過労、シック
デイ（対策）、季節の温度・湿度・気圧、食事摂取、運動、睡眠）への介入をいかに行うかをお示ししたいと考えてい
ます。

また、SGLT2阻害薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬、GPL1受容体作動薬、ARNIといった薬物の登場で
CKD対応は進歩してきています。事例を提示してその詳細をお示し致します。

これらの細やかなかかわりは透析導入を減らせることと考えています。今後はその予後をもた健康寿命を延ばす努力
をしたいと考えています。

透析患者様における最新の治療トピックスをお示ししてみたいと考えています。

講師：岡山中央病院
腎臓内科 医師 森岡 茂

日時：2024年10月24日（木）

18時30分～19時30分

方法：オンライン（Zoom）※会場参加も可能です

対象：医師・医療従事者

備考：岡山県医師会生涯教育講座申請中

問い合わせ先：岡山中央病院 地域連携室

Tel (086) 252-5002 Fax (086) 252-3929

Eメール：khg-renkei@kohjin.ne.jp

【お申し込み方法】

勉強会参加ご希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、岡山中央病院 地域連携室まで

メールかFAX、またはQRコードでお申し込みください。 khg-renkei@kohjin.ne.jp

- 記載項目：1. 施設名 2. 連絡先 3. 氏名 4. 職種
5. 医籍登録番号（医師のみ） 6. フリガナ
7. メールアドレス（FAXでお申し込みの方）

メール、FAXでお申し込みの方には、

後日、Zoom参加のURLをメールにて返信させていただきます。

